

### ◆◆◆ 急速に進むアルプスの氷河の後退

地球温暖化の影響は、多方面に広がりを見せている。スイスでは、氷河は水力発電のエネルギー源として、また、観光資源等として社会経済的にも重要な役割を持っている。この氷河の後退は気候変動の影響のはしりとして前世紀初頭から注目されてきた。

チューリッヒ工科大学(ETH Zurich) の最近の発表によると、1999年以降の10年間で同国の全氷河の12% (体積) が消失したとされている。また消失の速度は、気温の上昇と降雪の減少で、これまでになく大きく、この10年間は過去150年で最悪の10年とされている。特に、2003年には、1999年の時点のスイス国内の全氷河の容積 ( $74 \text{ km}^3 \pm 9 \text{ km}^3$ ) の3.5%に相当する氷河が消失したと報告されている。

(ETH Zurich の広報資料から)